

DDM-102 と iOS 端末とのペアリング方法

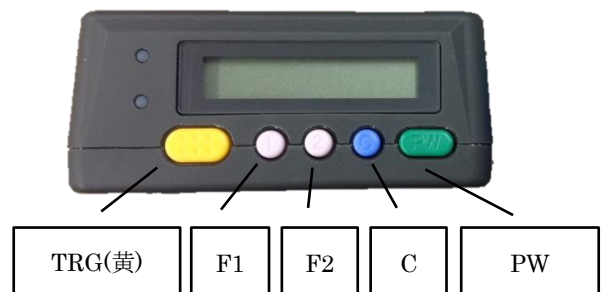
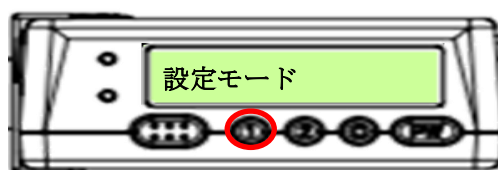
1 対 1 の接続の場合

□接続方法

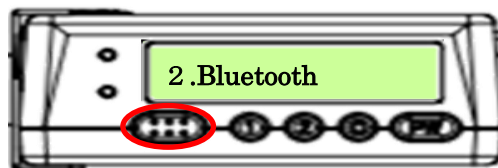
1. デジタルメジャーの F2 のボタンを押しながら、PW ボタンを押します。表示部に「設定モード」と表示されるまで同時に押し続けて設定モードにします。

(この項目は最初のペアリング時のみ行います。)

各部の名称



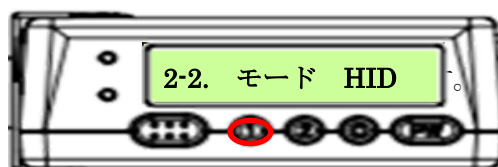
↓
F1 ボタンを 1 回押し、
“2. Bluetooth” の表示を出します。



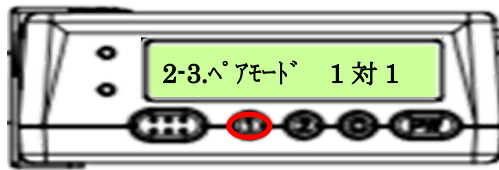
↓
TRG ボタンを押し、次の項目に進みます。



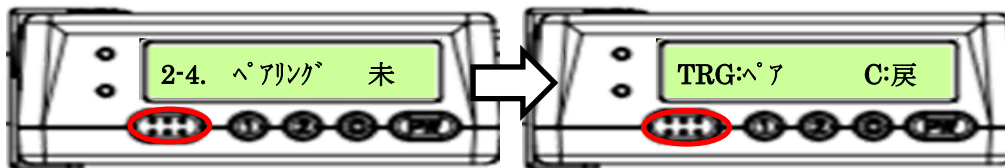
↓
2-1 接続の項目を“する”の設定になっているかを確認して下さい。
“接続 しない”になっていた場合、TRG ボタンを押した後 F1 ボタンを
1 回押し、“接続する”の設定にして下さい。



↓
F1 ボタンを 1 回押し、“2-2 モード”を表示させ“HID”の設定になっている
かを確認して下さい。“GATT”になっていた場合は TRG ボタンを押した後
F1 ボタンを 1 回押し、“HID”の表示にし、TRG ボタンを押します。



F1 ボタンを1回押し、“2-3 ペアモード”を表示させ“1対1”の設定になっているかを確認して下さい。“複数”になっていた場合はTRG ボタンを押した後 F1 ボタンを1回押し、“1対1”の表示にし、TRG ボタンを押します。



2-4.ペアリングの画面が表示されたら TRG ボタンを押します。次に“TRG : ペア C : 戻”と表示されたら TRG ボタンを押します。

“ペアリング待ち..”表示され、ペアリング状態になります。エラーが出るなど、接続に失敗した際はもう一度 TRG ボタンを押して下さい。

(この際 iOS 側の Bluetooth の設定画面に DDM-102 の接続記録が残っていた場合は一度その情報を削除して下さい。)

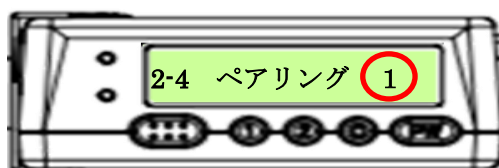
2. 次に iPad 側の Bluetooth の設定画面を開きます。デバイスの一覧にペアリングを行う “DDM-102” の項目が表示されますので、それをクリックします。するとペアリング要求メッセージが表示されますので、ペアリングを選択して下さい。(下図参照)

※この表示は最初のペアリング時のみ表示されます。

ペアリングが完了し接続しますと DDM-102 の項目が“接続済みになります。”



ペアリングが完了すると、デジタルメジャーが“ピッ”と鳴り DDM-102 側の表示としては画面右端にペアリング済みの機器の個数が表示されます。

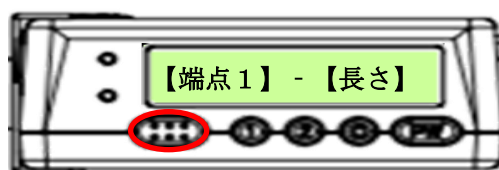


4. ペアリングが完了しましたら、一度デジタルメジャーの PW ボタンを押し電源を切ってください。そして PW ボタンを押しもう一度電源を入れて下さい。“Bluetooth 接続”という表示が出た後“ピピッ”という音が鳴り、“【端点 1】—【長さ】”という表示が出れば、接続は完了です



測定を行いますと、計測した値が起動しているソフトのカーソル部分に入力されます。

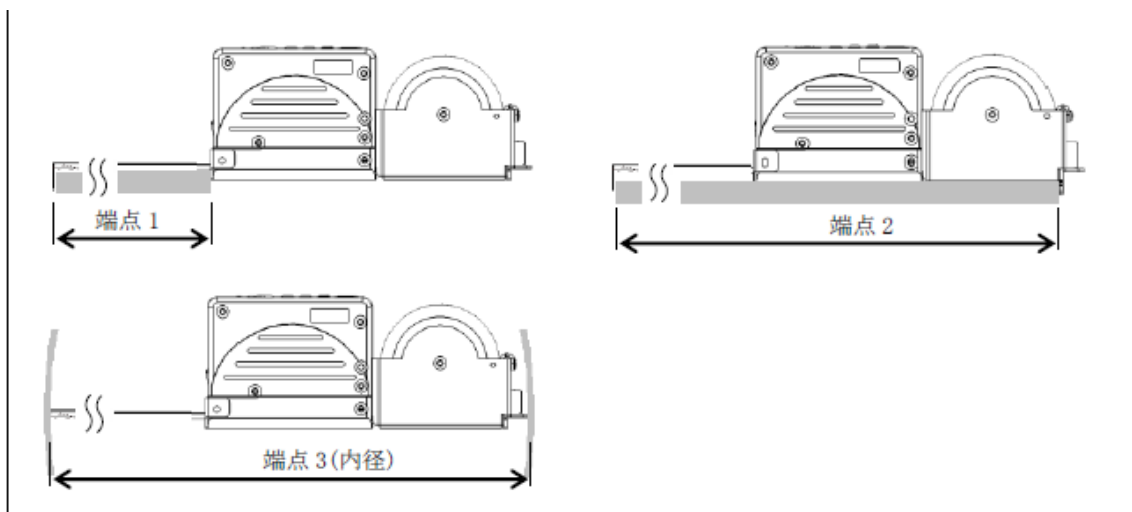
5. 電源を切る際は PW ボタンを押すと、接続が切断され電源が切れます。次に使用される際は PW ボタンを押しますと、自動的に接続するのですぐ使用できます。
6. 測定は黄色の TRG ボタンを押すと測定結果を表示部に表示させ、接続機器に測定結果を送信します。
- 設定によっては外径の測定だけでなく、内径の測定も可能です。(方法は下記に記載)



□端点の変更方法

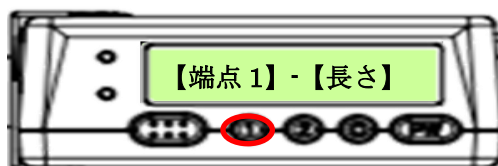
デジタルメジャーは市販のコンベックステープをカメラで撮影し、文字と目盛線の位置を認識することにより長さ位置を計算して送信する装置です。

本装置は「端点 1」、「端点 2」、「端点 3」、の 3 ヶ所の測定点で測定が出来ます。ここではその端点の変更方法を説明致します。

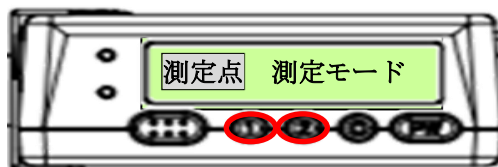


各測定点での測定(図2)

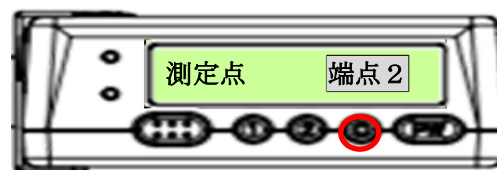
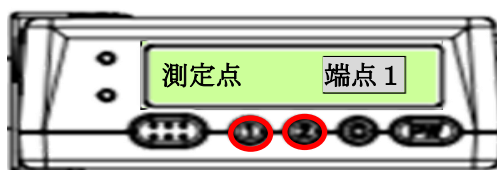
事前準備 : PC とデジタルメジャーを接続状態又はデジタルメジャーをオフラインモードにします。



F1 のボタンを長押しします。



「測定点 測定モード」と表示させます。ここで F1 ボタン、F2 ボタンを押し測定点が反転表示になるよう切り替えた後 TRG ボタンを押し、表示が「測定点 端点 1」とした状態で F1 ボタン、F2 ボタンを押すと反転表示が「端点 1、端点 2、端点 3」と変わります。目的の測定点で C ボタンを押すと決定し「測定点 測定モード」の表示に戻ります。



再度Cボタンを押すと表示が「測定点 端点X」となり、測定待機状態になります。
この状態になりましたら測定を行って下さい。

以上になります。製品の仕様方法に関してご不明な点があります際は、ディジ・テック
までご連絡下さい。

ディジ・テック Tel 077-510-1212 営業部